令和2年度　環境で地方を元気にする
地域循環共生圏づくりプラットフォーム事業

キックオフミーティング　発表資料

活動団体名：**越前市イノベーション研究会**

活動地域　：**福井県越前市**

（活動におけるテーマ・キャッチコピー）

新たなイノベーションによる地域資源の創出と地域課題の解消へ

地域循環共生圏を実現することで目指す地域の姿

- 地域資源の自然や伝統を生かしつつ、新たに生まれる手法（伝統と技術の共生）やつながり（地方と都市部）を融合することで、新たなイノベーションを創出
- それを越前市全体につなげ、新たな地域の資源となっていく仕組みを形成
- 新たな産業の創出、関係人口の増加を図って地域課題を解決していく

地域の現状と課題

地域の現状

◎ 地域の概要

・人口82千人、第2次産業が盛ん
・ 2023年の新幹線駅開業に向け、約100haの駅周辺開発が始まり変革への大きなチャンス
（スマートシティ＆フォレストシティ）

◎ 地域の特性（強み・弱み）

(強)大規模開発によって新しい取り組みができるチャンスにある
（スマートシティ→これまでにない業種の立地）
(弱)経済の域外流失が顕著

◎ 地域資源

・自然・伝統工芸（和紙、打刃物、箪笥等）、地域民間企業、若い世代

課　題

◎ 現状から考える地域の課題

・若者世代の流出
・「行政主導型住民参加」では、市民がアイデアをもっていても動かし方がわからない

◎ 今後取り組むべき課題

・「行政主導型住民参加」から、あらゆる世代の市民が参加する「市民の主体的な連携」に変わる、「市民の地域づくりに対するイメージ転換」

◎ 地域循環共生圏構築を通じて解決しようと考える課題

・都市と地方、伝統と技術が共生する仕組みづくりによる、イノベーション、新たな産業創出

地域のありたい未来の実現のために

◎ 今年度の到達目標・チャレンジしたいこと

・イノベーション、新たな産業創出を目的として都市と地方、伝統と技術が共生する仕組みづくり、新たな関係性の構築

◎ ありたい未来の実現や、地域の課題解決のために、今年度中にクリアする課題、年度末にたどり着きたい具体的な状態など

・地域の課題を解決できるビジネスを実現できるような企業・団体との連携
（地域のさまざまなステークホルダーを巻きこむ）

◎ 地域のありたい未来に至るために、今年度何をどこまでやるか

・勉強会・グループワークで、地域の経済循環の視点で課題解決の手法を検討していく
（新駅周辺開発で同時検討される脱炭素イノベーションやスマートシティ戦略、開発ルールとの連携・情報共有を図りながら検討を進める）
・シンポジウムで、新たな企業・団体を巻きこんでいく

年間スケジュール・取組予定

地域で活動する
団体・企業の参画
（巻きこむ）

■脱炭素イノベーション
地域共生循環圏：地域づくり
脱炭素イノベーション：技術
■スマートシティ戦略
■開発ルールを検討する委員会

連携

	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
（1）地域の課題、資源を整理（事務局＋コンサルタント）										
（2）他プラットフォーム団体との交流		情報交換会（WEB）								成果報告会（東京）
（3）勉強会の開催(案)（研究会＋地域の団体・企業）		メンバー募集								
第１回　「テーマの共有」※座学形式				（環境省講師）						
第２回　「“場”づくりへの導入」※WG形式					（EPO 連携）					
第３回　「プロジェクト化の導入」※WG形式										
第４回　「プロジェクトの連携」※WG形式										
（4）シンポジウム ・地域全体で地域を見つめる機会 ・研究の成果発表 （地域課題を解決できるビジネスを実現できるような企業や団体を募集） （勉強会で創出された事業やイベントを実験的な開催）										
（5）成果の作成（事務局＋コンサルタント）						中間報告				

話を聞きに行く
地域の企業・団体で活動するさまざまな人を巻き込む

地域のコンセプトを描く

事業のストーリーを語る

地域の目標をたてる
地域の課題を解決できる新規ビジネスを創出

都市との連携
新規ビジネス
関係人口
経済循環
AI・5G
RE100ｴﾘｱ
ｴｺｼｽﾃﾑ
etc・・・

■成果
- **地域版マンダラ**
- **ステークホルダーリスト**
- **成果指標シート**
- **地域の構想のコアとなる事業の概要**

■指標
- **新規事業やイベントの創出**
- **RE100エリアの構築**

次年度以降：新たな地域資源の創出・地域課題解決カンパニーの創設

こんなことを助けて欲しい！

今回の取り組みでは、企業や団体（市民）と勉強会やワーキングを行う予定だが、そもそも、地域循環共生圏やSDGｓの概念、身近にできる取組みなどへの理解が得られていないように感じる。

- そこで、地域循環共生圏やSDGｓの専門家のスピーカーとしての派遣や、紹介をお願いしたい。
- 同様に、地域のエコシステム構築、そこに至るイノベーションの創出などの専門家、５Gやブロックチェーン、VPPなどの科学技術に関する専門家も、スピーカーとして派遣や紹介をお願いしたい。

また、官民一体の事業の創出に不慣れで、官主導×地域受注（or受容）に慣れた、民からのポジティブな提案が起きづらい傾向がある。

- そこで、ワーキングをする際に、「市民の主体的な連携」につながるように場を進める技術を持ったコーディネーターやファシリテーターの派遣や紹介をお願いしたい。